

2017年11月

京都を拠点に「建築空間に生きる和紙造形の創造」に取り組む
堀木エリ子さんの活動 30 周年記念展

堀木 エリ子展 -和紙灯りのオブジェ-

■会 期:2017年12月13日(水)~12月19日(火)

■会 場:京都高島屋 6階美術画廊(京都市下京区)

■開場時間:午前10時~午後8時 ※最終日は午後4時閉場

(入場無料)



京都高島屋で、「堀木エリ子展-和紙灯りのオブジェ-」を開催いたします。京都高島屋で堀木さんの個展を開催するのは、今回が初めてです。

堀木エリ子さんは、「建築空間に生きる和紙造形の創造」をテーマに、アートやデザイン、工芸の領域を超えたダイナミックな和紙表現に取り組み、今年、活動 30 周年を迎えられました。最大 10mを超える大きな手漉き和紙を活かし制作される繊細かつダイナミックなその表現は、日本各地の公共施設や宿泊施設、商業施設などで多くの人を魅了しています。

また、建築空間で和紙を使用するために培ってきた技術や経験をもとに、約 10 年前からは「暮らしの中に使われてこそ文化」という考えのもと、住空間の中での和紙作品や内装設計を手がけています。

今展では、長年手掛けてきた独自の手法で立体的に漉き上げたライトオブジェを中心に、「しつらえの場」をご提案する作品など、住空間の中で現代の暮らしに寄り添う作品約 30 点を展覧いたします。

和紙への想いに溢れ、異国の文化や異素材の最先端技術とも融合しながら進化し続ける、堀木エリ子さんの世界をお楽しみください。

お問い合わせ

京都高島屋 (京都市下京区)

TEL 075 (221) 8811(代)

■堀木エリ子(ほりき・えりこ)さん略歴



1962年 京都生まれ。和紙の商品開発会社に勤務していた時、職人の尊い営みによる手漉きの和紙が、機械による大量生産にとって代わられていく現実に直面。匠の技である手漉き和紙の魅力を未来に繋ぎたいと、手漉き和紙の世界に飛び込む。1987年 SHIMUS(シムス)設立、2000年 株式会社堀木エリ子&アソシエイツ設立。「建築空間に生きる和紙造形の創造」をテーマに、2700×2100mmを基本サイズとしたオリジナル和紙を制作。和紙インテリアアートの企画・制作から施工までを手掛ける。近年の作品は「東京ミッドタウンガレリア」ブリッジ光壁(2007)、「パシフィコ横浜」エントランス光壁(2010)、「在日フランス大使館 大使公邸」パーティション(2008)、「成田国際空港第一ターミナル到着ロビー」の和紙モニュメント(2006)の他、N.Y.カーネギーホールでの「YO-YO MA チェロコンサート」の舞台美術(1999)等。現在、京都市在住、京都を拠点に活動。堀木エリ子&アソシエイツ代表取締役。

■展観作品の一例



light object TORI
(各 550×170×高さ 285mm)



上 2点 : light object FUKU
(バカラクリスタル コラボレーション)
(各 300×240×高さ 900&1200mm)

下 2点 : light object SACHI
(バカラクリスタル コラボレーション)
(各 270×120×高さ 270mm)



左から、
light object MINORI、light object KAIKA、
light object TSUBOMI
(いずれも、バカラクリスタル コラボレーション)
(各 120×120×高さ 400mm)